臨床看護概論 II (症状別看護)		DP1、DP2、DP3 DP4、DP6		看護高等課程	
14   711   - 11-11	时间数	担当 14 時間 教員	<u>,</u> <b></b>		
主な症状に対する看護の特徴を踏まえ、健康障害を持つ対象に応じた看護を学ぶ。また、事例を通して、適切な看護を実践するための基本的な考え方や知識・技術を統合し探求していく能力を身につけられるように 概要 学んでいく内容とした。問題基盤型学習、自己指向型学習、小集団討議、プレゼンテーションなどを活用し 学ぶ。					
到達 1. 主な症状とその原因・誘因が対象の日常生活にどのような影響を与えているのか考えることができる。 2. 対象者への看護を考え、看護の実際について理解することができる。 目標 目標					
単元項目		授業内容	形態	担当教員	
症状を示す患者の看護 主な症状に対する看護 まとめ 試験	呼吸器症状を示す 循環器症状を示す 消化器症状を示す 腎・泌尿器症状を 脳・神経症状をえ	す患者の看護 す患者の看護 す患者の看護 を示す患者の看護 示す患者の看護	講演器講教習	専任教員	
評価 100 点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。 基準 評価 出席状況と講義演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。また、シミュレーション演習、パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。 新看護学 8 基礎看護 [4] 臨床看護概論 医学書院疾患別看護過程の展開 学研、看護過程に沿った対象看護 学研必要時、資料等は配布する。					
	(症状別看 事門 基底護 事門 基底 基底 類するるした。 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部	(症状別看護) 専門 基礎看護 臨床看護概論  主な症状に対する看護の特徴を踏まえ、健康 切な看護を実践するための基本的な考え方や 学んでいく内容とした。問題基盤型学習、自 学ぶ。 1. 主な症状とその原因・誘因が対象の日常: 2. 対象者への看護を考え、看護の実際につい 単元項目  全身症状を示す。 「呼吸器症状を示す。」 「呼吸器症状を示す。 「呼吸器症状を示す。」 「呼吸器症状を示す。」 「非経症状を示す。 「非経症状を示す。」 「非経症状を示す。 「非経症状を示す。」 「非経症状を示す。 「ないるをした。自割以上を合格とする。また。 「は、いるをは、いるをは、いるをは、いるをは、いるをは、いるをは、いるをは、いるを	(症状別看護) DP4、DP6  事門 基礎看護 時間数 14 時間 担当 教員 専任報 教員 事任報 教員 事任 对助 表面 经常证 以下	(症状別看護)   DP4、DP6	